

広報119

2018春号 vol.25

平成30年度全国統一防火標語

『忘れてない？
サイフにスマホに
火の確認』



熱い。怖い。でも消さなきゃ！！

昨年11月3日に、磐井中学校にて「中学生のためのいちのせき防災アカデミー」を開催し、市内各中学校より36名が参加しました。初期消火訓練では、実際に炎が出る消火体験装置を目の前にして炎の熱さや怖さを体験しながら真剣に取り組みました。

一関市消防本部のホームページ

WEB
で検索

一関消防

検索



一関市消防本部HP
メール、アプリの登録はこちらから

火災などの災害情報の問い合わせ

TEL 0180-991199

秋から春にかけての各種行事



▲怪我等で動けない方を安全な場所まで運ぶという想定で、職員、学生及び地元自主防災組織会員ら66人が参加しました。
『千厩高等技術専門学校防災セミナー』（平成30年4月19日）



▲HUG（避難所運営ゲーム）では、地図上で訓練を行い、災害時のシミュレーションを行いました。
『滝沢地区避難所運営訓練』（平成29年12月13日）



▲地元の文化財を守るため、地域住民らによるバケツリレーでの消火訓練が花泉町永井にある瑞昌寺で行われました。
『文化財防火訓練』（平成30年1月28日）



▲防災意識を高めるため、市消防団大東第二分団第六部の屯所シャッターに児童らが文字やイラストを書き入れました。
『シャッターペイント』（平成30年2月10日）

『いちのせきメール』の配信について

市内の消防車両の出動情報等を提供してきた「いちのせき防災メール」が、4月1日から「いちのせきメール」に変わりました。

今まで発信してきた情報に加え、新たに防犯情報や道路、河川管理情報などを配信します。

現在、「いちのせき防災メール」に登録している人は、再登録の必要はありませんが、新たに追加された項目の情報発信を希望する場合は、ホームページから変更登録をしてください。

アプリで簡単登録！

スマートフォンのアプリでも、いちのせきメールの情報を受け取ることができます。プッシュ配信ですぐに情報が届くアプリでの登録をおすすめしておりますので、ぜひ登録をお願いします。

いちのせき防災メールを登録されていた人で、新規にアプリを登録されたい人へ

メールとアプリ、両方とも登録すると、同じ内容の情報が届いてしまいますので、アプリを登録したら、メールの登録はホームページから解除してください。

いちのせきメール「@InfoCanal」のダウンロードはこちら

1 Android 端末



2 iPhone・iPad など



@InfoCanal

【対応 OS】Android…Ver.5.1
以上、iOS…Ver.8.0 以上推奨
【アプリサイズ】約 3.5MB

「防災マップ」をリニューアル

～災害に備えて、日頃から情報収集しましょう～

6年ぶりに一新された防災マップは、広報いちのせき「I-style」4月1日号と併せて全戸配布されました。見やすい場所に掲示して、災害時に危険な場所はどこか、どのようにして災害情報を入手するかを確認しましょう。

○掲載される情報

- ・スマートフォン等で川や道路のライブ映像や情報をリアルタイムで入手できる2次元コード
- ・国、県の最新の洪水浸水想定区域
- ・新しい避難場所
- ・新しい災害危険情報
- ・防災情報の入手方法



防災まちづくり大賞

消防庁長官賞!

「防災まちづくり大賞」は、阪神・淡路大震災を契機に平成8年度に創設されました。地域に根ざした団体等が行っている、防災に関する優れた取組等を表彰し、広く全国で紹介することにより、地域における災害に強い安全なまちづくりの一層の推進に資することを目的として実施されています。

今回、「第22回防災まちづくり大賞」の消防庁長官賞に中里まちづくり協議会が選ばれました。これからも市内全域で災害に強いまちづくりに取り組みましょう。



↑市長へ受賞報告する中里まちづくり協議会の皆さん

積極的な活動と災害に強い地域づくりの活動を表彰

優良自主防災組織等表彰式



2月17日(土)に一関市消防本部で優良自主防災組織等表彰式が行われました。

これは自主防災組織等の活動の一層の充実、発展と地域防災力の向上を目的に、優れた活動を行っている組織やその指導者を毎年表彰しているものです。

表彰を受けた方々は下記の個人6名と7団体です。(敬称省略)

申請の部(個人)

- 一関地域婦人消防協力隊 事務局長 寺澤淑子
- 花泉町婦人消防協力隊 分隊長 佐藤さよ子
- 藤沢町婦人消防協力隊 副隊長 時田洋子
- 一関地域自主防災組織連絡協議会 元会長 熊谷典男
- 一関地域自主防災組織連絡協議会 元事務局長 池田鐵男
- 花泉町自主防災組織連絡協議会 会長 阿部幸紀

応募の部

- 真滝8区自治会自主防災会
- 真滝13区自治会自主防災会
- 第2-2区自治会助け合い自主防災組織
- 新町地区自治会
- 松川7区自治会自主防災会
- 藤沢36区自治会自主防災部
- 平泉町第13区自主防災会

～記憶を風化させないために～

『アイオン台風から70年』

昭和22年のカスリン台風、同23年のアイオン台風により、一関地方は2年連続して大水害に見舞われ、多くの尊い命が犠牲となりました。今年がアイオン台風から70年の節目の年。市では、より一層の防災意識の啓発や自主防災組織の育成強化などに取り組むほか、消防施設等の更新整備や災害時の迅速での確な情報提供に努めています。

地域の皆さんは、避難時の飲料水や食糧の確保、防寒対策などを普段から考えていただき、災害に備えてください。



ということは建物の耐震化はもろろんのこと、家具や電化製品の固定化やガラス飛散防止フィルムを貼付すればケガは防げます。食器棚や台所の棚に扉ロックを装着、固定のない家具や物は生活場所、特に就眠場所には置かない、本棚やタン

少しの対策で地震による事故は防げるのです。東日本大震災の余震の際に、あわてて着の身着のまま裸足のまま飛び出してガラスなどでケガをされた方が多くいました。この場合、枕元に靴と絶対に転がらない懐中電灯を置いて、服を着て寝ていれば助かったはず。スは固定して設置し、本などは必要最小限のものを平積みにする、就眠場所のふすまや頭上にある電灯なども外しておく、できることはたくさんあります。

シリーズ第二十四回 少しの心構え

県立磐井病院 救急科長 片山 貴 晶

岩手・宮城内陸地震から10年

日頃の備えは 大丈夫ですか？

～地域を水害から守る訓練を体験、見学しよう～

北上川上流両磐地区合同水防演習

カスリン・アイオン台風から70年の節目の年。風化させない歴史と今後の未来につなげていくため、例年実施している水防訓練と合わせて、市民の皆さんが楽しめる企画も用意しました。多くの市民の皆さんのご来場をお待ちしております。

- 開催日時：平成30年7月1日(日) 9:30～14:00
- 開催場所：磐井川河川緑地公園 上の橋下流左岸



発行日 ●平成30年5月25日
 編集 ●一関市消防本部
 〒021-0053 岩手県一関市山目字中野140-3
 TEL (0191) 25-0119 (代表)

市内一斉開催

6/14はいちのせきシェイクアウト訓練

10年前に発生した岩手・宮城内陸地震に合わせて、市ではシェイクアウト訓練を実施します。場所や天候を選ばず、どこでもどなたでも参加できる訓練です。

訓練当日は、多くの市民の皆さんのご参加をお願いします。

- 実施日時：平成30年6月14日(木) 8:43
- 実施場所：それぞれの自宅、学校、職場など
- 訓練当日：上記時刻に、震度6弱の地震が発生した想定のもと、自らの身を守る3つの安全確保行動をその場で実践します。

(注意) 訓練終了の合図はありませんので、それぞれで訓練を終了してください。

